

45日タイプ (サマーサンリッチ®)

夏季最短45日で開花する極早生種
 (「サンリッチ オレンジ」より開花が
 7~10日早い)。花粉が出ない、完全
 1本立ちの無分枝タイプで、茎が大変
 硬く、小葉で草姿のバランスがよい。
 草丈は「サンリッチ オレンジ」より低く、
 露地栽培で100~120cm程度。
 (冬季や短期の作型では草丈が伸びにくい)



F1サマーサンリッチ オレンジ45



F1サマーサンリッチ レモン45



F1サマーサンリッチ パイン45

※この品種はクリスタルコート種子のみの供給になります。

品番	品種	特長
FHM455	F1サマーサンリッチ オレンジ45	明るいオレンジの花弁で黒芯。「パイン45」に比べやや早咲きで、伸長性に優れる。 <small>【クリスタルコート対象品種】</small> P.99

価格	クリスタルコート種子 1,000粒	4,800円 (税込5,184円)	クリスタルコート種子 1,000粒×10	43,200円 (税込46,656円)
----	-------------------	-------------------	----------------------	---------------------

品番	品種	特長
FHM517	F1サマーサンリッチ レモン45	「パイン45」よりも濃いさわやかなレモン色で黒芯。

価格	1,000粒	5,000円 (税込5,400円)	1,000粒×10	45,000円 (税込48,600円)	5,000粒	23,500円 (税込25,380円)
----	--------	-------------------	-----------	---------------------	--------	---------------------

品番	品種	特長
FHM513	F1サマーサンリッチ パイン45	「レモン」より透明感のある淡黄色。中心は黒褐色。

価格	1,000粒	4,000円 (税込4,320円)	1,000粒×10	36,000円 (税込38,880円)	5,000粒	19,000円 (税込20,520円)
----	--------	-------------------	-----------	---------------------	--------	---------------------



サンリッチ 3つの特長

① しっかり作れる栽培性

発芽から栽培初期はじっくりと成長し栽培途中に勝ち負けが出にくく生育が揃います。栽培後半には茎が固く花首もしっかりした高品質の切花に仕上がります。播種から開花まで到達日数によって、45日、50日、55日タイプに区別されます。播種時期により3タイプを使い分けることで周年を通じ切花栽培が可能です。

② すっきりシャープな花型

一枚一枚の花弁のラインがすっきりシャープで美しい。開花後の花弁の反り返りも少なく、花弁の並びが整った美しい花型を長く維持します。

③ ビタミンカラーがいっぱい

オレンジ、レモン、マンゴー、パイン...、サンリッチの品種名はフルーツ由来のネーミングで、花色数・到達日数別タイプとも種類が豊富です。

タイプ別播種適期表

タイプ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
45日	-	-	△	○	◎	◎	◎	○	△	-	-	-
50日	-	-	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-
55日	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	△

※使い分けの一例ですので、土壌など栽培条件により結果は異なります。

サンリッチ系の特性と使い分け

サンリッチ系は到達日数により、3タイプに分けることができます。平均到達日数と草丈比はどの栽培時期でも一定しています。

タイプ	到達日数(日)	草丈(cm)	草丈比	短日期出荷適性	止め葉の大きさ
45日	45~55	100~120	6	△~×	小
50日	50~60	130~140	8	○~△	中
55日	55~70	160~170	10	○	やや大

※滋賀県・タキイ研究農場5月上旬播種・疎植栽培データの一部(実測値は栽培の程度により変わります。)



45日タイプ 50日タイプ 55日タイプ
 (同時播種時の開花差例: 11月撮影)

世界初のべと病耐病性品種 F1 DMR サンリッチオレンジ

F1DMRサンリッチオレンジは、観賞用切り花ひまわりでは世界初となるべと病耐病性品種です。べと病はひまわりに発生する最重要病害の一つであり、天候条件や栽培環境によって発生します。F1DMRサンリッチオレンジはべと病の複数レースに対し耐病性を持ち、タキイ種苗がオランダのべと病多発圃場で実施した従来品種との生育比較試験では、べと病の感染症状が一切現れませんでした。農業散布の軽減という観点から環境にも人にもやさしい品種です。

※DMR=べと病耐病性 Downy Mildew Resistanceの略。

べと病の新しいレースや特異なレースに対してはDMRの耐病性が打破されることがあります。



べと病多発圃場



べと病多発圃場での試験